

テーマ

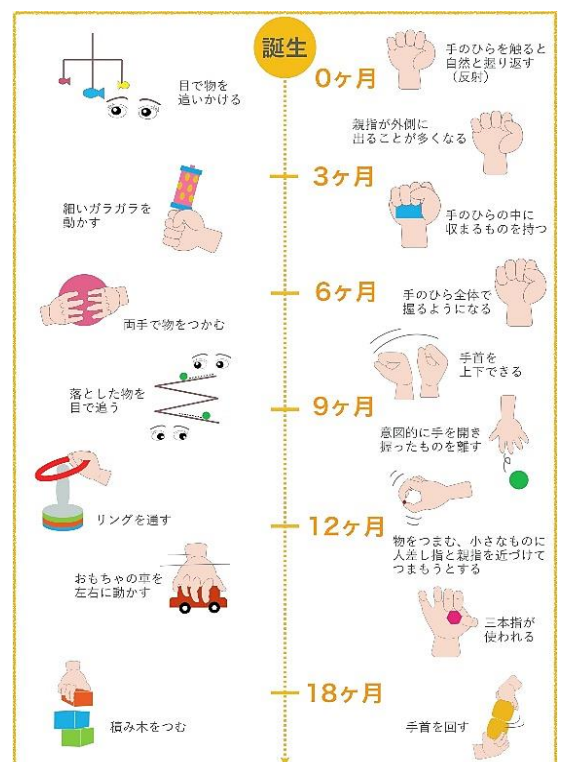
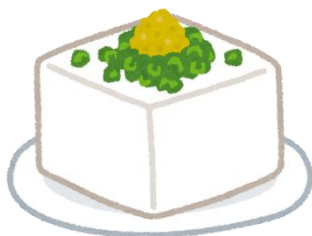
体について知ろう ～摂食・手の動き～

手には三つの機能があり、手の発達には全身の運動発達と深く結びついている。

手の機能

An illustration showing two hands. The left hand is holding a white, fluffy cloud. The right hand is holding a pair of blue scissors, cutting a white rectangular piece of paper.An illustration showing a woman on the left looking at a white box with a large black question mark on it. On the right, a delivery person in a blue uniform and cap is carrying a brown cardboard box, looking stressed with sweat drops on their forehead.

<例えば…>



摂食の機能と発達 摂食・嚥下には五つの過程があり、以下のように分けられる。

期	行われること
先行期	食べ物を見つけ口腔に入れる
準備期	食べ物を咀嚼し食塊にする
口腔期	食塊をまとめ飲み込む準備をする
咽頭期	食塊を咽頭に送り込み嚥下する
食道期	嚥下した食べ物を送る

私たちが冷奴を食べるときは、木綿、絹、など、素材を見て判断し、食べ方を変えている。



知的障害児の摂食指導上の課題

口を閉じずに
食べる

かまずに飲む
(丸飲み)

咀嚼が弱い
(よくかまない)

好き嫌いが激しい
(偏食)

嚥下機能に問題がない場合が多い

研修では、実際にお菓子を使って
「口を閉じずに食べる」「かまずに飲む」体験をしました。



知的障害児の摂食指導の考え方

原因	指導の方向性
- 全身の筋力の低下 - 微細な運動能力の弱さ - 過敏や鈍麻 ↓ 口唇、下、表情筋の 運動面、使用面、協調性の弱さ	- 摂り込みから嚥下まで、一つ一つの動作を評価し、動きが不十分なところを適切に指導して獲得できるようにする。 - 口唇や舌、表情筋を使う練習を取り入れる。

知的障害児の摂食指導では、手の機能と摂食の機能に着目し、食べにくさがどこにあるのかを評価して、適切に指導していく必要がある。

参考文献

- ・イッポラボ 「【保存版】生まれてから18ヶ月までの子どもの手の発達について」
<https://ippolab.co.jp/teno-hattatsu/>
- ・お口の情報室 「口腔機能とは」
<http://orarize.com/index.html>

関連書籍

「知的障害特別支援学校での
摂食指導と言語訓練」

坂口しおり 著
ジアース教育新社

「発達障害児の偏食改善マニュアル」

監修 山根希代子 編著 藤井葉子
中央法規

「気になる子どものできた！が増える
食事動作指導アラカルト」

笹田 哲 著
中央法規

「発達の気になる子の 学校・家庭で
楽しくできる 感覚統合あそび」

川上康則 監修
ナツメ社

基本の動作やサポート方法が動画で見られる
QR コード付き

